

広報

Town Newsletter

かわもと

緑にこだます 音楽の里

2002 5 May No.373
平成14年
<http://www.kawamoto-town.jp/>

特集 25

川本町立川本幼稚園

新年度から 「一年保育」スタート



川本幼稚園の4、5歳児

在宅の お母さんたちに好評

「ねんどは、この箱に
かたづけるんだよ」「い
つしょにウサギの赤ちや
んを見にいこう」――。

二年保育が導入されて
一ヶ月。五歳児が四歳児
に、優しく声をかける光
景が目立ちます。

「入園当初は保護者か
ら離れることが不安だつ
た子どもたちも、だいぶ
園の生活に慣れた様

子。みんな元気いっぱい
に遊んでいます」

戸田慶子主任教諭は笑

顔で、この一ヶ月を振り
返りました。



川本町立川本幼稚園（芦矢修司園長・十五人）

は、今年四月から四、五歳児を対象にした一年
保育を導入しました。少子化に伴い慢性的な定
員割れが続く同園は、これまで幾度となく存亡
の危機に直面、そのたびに保護者たちが声を上
げて、幼児教育の必要性を訴えてきました。子
どもや子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化
する中、新たな幼児教育の展開が求められてい
る幼稚園のあり方を特集します。



特集 25 川本幼稚園で2年保育スタート

現在、園児は五歳児十人、四歳児五人の計十五人。うち、九人はこれまで在宅児。幼稚園で初めて集団保育を経験しています。

二年保育の意義について戸田教諭は「幼児期は、集団生活をとおして社会性を身につける大切な時期。異年齢児が関わりを持ちながら生活することに、大きな効果があります」と期待しています。

四歳児を通わせている在宅の母親は「今まで日中、親子二人で過ごして甘やかしがちでしたが、友だちや遊びの幅が広がって、毎日喜んで通っています」と二年保育の導入を歓迎しています。



「県内では唯一の一年保育。三年保育さえ当たり前なのに」――。

特に、転勤家庭を中心とした保護者は、存続問題が浮上するたびに、施設の存続と二年保育を要望。町ではニーズの高まりを受けて、本年度から二年保育化の導入に踏みきりました。

☆ ☆ ☆

家庭の教育力の低下や学級崩壊など社会問題が表面化する中、国では今年三月、新たな幼稚園教育の方針を示した『幼稚園教育振興プログラム』を策定。その中では、保育所や子育て家庭を取り巻く環境の変化に対応しながら、保育

施設の開放や子育て相談など、地域に開かれた施設運営に努めています。

しかし、少子化に伴う幼児の減少や町の行財政改革と相まって、幼保一元化とする統廃合問題に揺れ動いてきました。

施設の開放や子育て相談など、地域に開かれた施設運営に努めています。

学校教育」と言われるようになれば、小学校低学年で実施されている生活科のルーツは幼稚園です」「この度の二年保育の実施は、学校に校風があるように、「園風」が継承されていくという点でも注目すべきメリットとしてとらえています」と新しい体制での幼稚園教育の意義を強調しています。



特集 25 川本幼稚園で2年保育スタート

インタビュー

今年四月から、一年保育を導入した川本幼稚園。どのような幼稚園教育のあり方が求められているのでしょうか。長年、児童教育に携わる森脇さんに聞きました。

「幼稚園教育の役割を聞かせてください。」



島根県幼稚園新規採用教員研修指導員
(元松江市立古志原幼稚園園長)
森脇千種さん

「育んでいます」
—今、幼稚園教育はどのような流れにありますか。
子どもはさまざまな人との接触や交流の機会が少なくなり、自主性や社会性を培う機会が減つ

を育んでいます

—この実態の中で、幼稚園では、子育て相談や施設開放など、在宅親子も含めた子育て支援が必要です。県内ではニーズの高まりを受けて、三歳児保育や預かり保育の導入も、年々着実に増えています

「少子化の波は、保育施設や学校の統廃合といった深刻な問題をはらんでいますが、地域住民が町の子育て環境、ひいては町の発展に、どのような将来像を描くかによって大きく左右されると言えますね。その意識を高めるためにも、幼稚園は積極的に地域住民や在宅児を園に招いて、ともに保育を展開したり、地域に出かけて幼児教育の大切さを訴えていく必要があります」とが急務と思われます」

「施設運営の弾力化を図りながら、『子と親の育ち』をサポートする『子育て支援』は、いまや児童教育のキーワードと言られています。川本幼稚園に二年保育が導入され、支援の受け皿が広がったことは高く評価できますね」

「保育所や小学校との連携、あるいは地域とのかかわりについて、どのようにお考えですか。」

「幼稚園が、遊びに集中できる時間は限られています。幼稚園では、午前九時から午後二時までの保育時間で集中的に、多様な体験をおして、『自ら学ぶ力』

で、『生きる力』の基礎を培つておく意味でとても大切です」
「児童が、遊びに集中できる時間は限られています。幼稚園では、午前九時から午後二時までの保育時間で集中的に、多様な体験をおして、『自ら学ぶ力』

で、『生きる力』の基礎を培つておく意味でとても大切です」
「児童が、遊びに集中できる時間は限られています。幼稚園では、午前九時から午後二時までの保育時間で集中的に、多様な体験をおして、『自ら学ぶ力』

で、『生きる力』の基礎を培つておく意味でとても大切です」
「児童が、遊びに集中できる時間は限られています。幼稚園では、午前九時から午後二時までの保育時間で集中的に、多様な体験をおして、『自ら学ぶ力』

好評!「月の市」

生鮮品などを並べて誘客

4/20



品定めをしながら切り花を貰い求めるお客様

商店街の活気を取り戻そうと、川本町にぎわいづくり委員会が毎月二十日に開く「月の市」が好評です。同会は商店主の有志などで構成。空き店舗前などを利用して、消費者の志向をつかみながら誘客策を企画。通りにある他の店舗も、特売日として月の市に連動しています。

四月の「卯月の市」では、中新町商店街一角の駐車場にテントを連ね、地場野菜や総菜、切り花、かき氷、ラーメン、お寿司、おもちゃなどを用意。土曜日と重なり、開店の午前十時から大勢の家族連れが来場し、生鮮食品は午前中で完売する人気ぶり。企画した商店主たちは「今後も工夫を凝らしながら客層を広げ、月の市を定着させたい」と話していました。

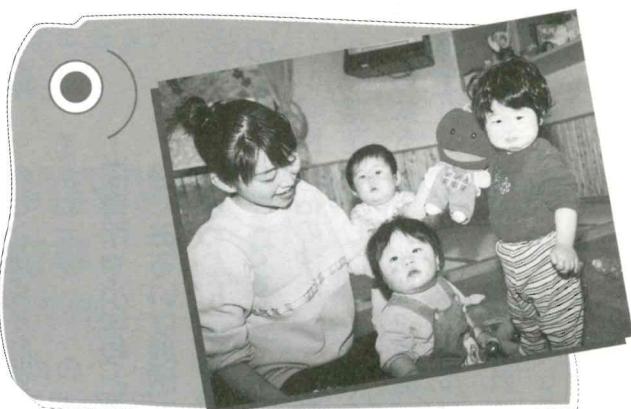
三原地区に農業集落排水処理施設が完成

家庭などから排出される汚水や生活雑排水を処理する「農業集落排水処理施設」が、三原地区に完成。四月二十六日に、工事関係者や地元住民などが参加して竣工式が開かれました。

この事業は、国や県の支援を受けて、三原地区農業集落排水事業として平成十年度から着手。排水管の敷設や、最新の汚水処理機能(連続流入間欠ばつ氣方式)を備える終末処理施設の設置を進めてきました。総事業費は十九億六千五百万円。五月から施設の供用が始まると、河川や農業用水などの水質環境の向上が期待されています。

「おとぎやか」

2002.5.7 川本保育所



国際交流コーナー

韓国料理



HELLO! こんにちは! 川本町国際交流員のアレックスです。今月は、国際交流の事業を宣伝させていただきたいと思います。



暑い季節に向かうと、辛い料理が特においしいです! 辛い料理と言えば韓国料理ですよね。キムチをはじめ、色々なおいしい韓国料理がありますので、韓国系アメリカ人のサラさんと一緒に作ってみませんか?



サラさんは韓国生まれで、14歳の時にアメリカに引っ越しされました。現在はアメリカの国籍を持っておられるそうです。アメリカの大学で日本語を専攻し、1996年から1997年まで、東京大学に留学されて、去年の夏に浜田の国際交流員になられました。韓国語も、英語も、日本語もペラペラで話せる、とても国際的で面白い方です。



サラさんの母国の料理を味わってはいかがでしょうか?

日 時 6月29日(土) 10:30~
場 所 すこやかセンター
募集人数 30人
参 加 料 1人/1,000円
問 合 せ 川本町教育委員会
☎ 0855-72-0594

民家で陶芸品展示

丹誠込めた花びんや能面 4/27~29



味わい深い作品に見入る来場者たち

和をテーマに、陶器や能面など味わいのある手仕事の作品を展示了。「陶芸もどき展」が因原で開かれ、広島や益田市など町内外から大勢の陶芸愛好家が訪れました。
技術を向上させようと、因原で陶芸に取り組む堂面とき子さんが、地元の仲間や東京の陶芸職人に呼びかけて開き、今年で二回目。会場の古い民家には、花びんやお皿、紙で作った兜に似せた置物などの陶器、木彫りの能面など、丹誠込めた陶芸品が展示されました。来場者は手法を聞いてメモをしたり、じっくり品定め。三隅町・岡見陶芸同好会の会員たちは「味わい深い作品ばかり。技術を学ぶ良い機会です」と話し、個性あふれる作品に見入っていました。



一日平均汚水量184tの処理能力を持つ農業集落排水処理施設

環境

生ごみ堆肥化装置の購入助成

家庭の生ごみを堆肥に変えて、ごみの減量化を進めるため、コンポストや電動生ごみ処理機の購入を予定されている世帯に助成をしています。

コンポスト

- 1基あたり購入額の1/2(3,000円を限度)を助成。
- 1世帯2基まで。

電動処理機

- 1基あたり購入額の1/3(20,000円を限度)を助成。
- 1世帯1基まで。

問合せ 役場住民課

☎0855-72-0632

暮らし

地域安全標語塔を設置

町地域安全推進員連絡会(柿迫政徳代表)が募集した地域安全標語の入賞標語(3点)を、標語塔にして設置しました。場所は、下新町の旧法務局跡地です。



建設廃棄物のリサイクル推進

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」が5月30日から施行され、特定の建設資材の分別解体や再資源化等が義務づけられます。①コンクリート、②アスファルト・コンクリート、③木材のいずれかを用いた建築物の解体などで一定規模以上の工事については、基準に従い分別し、再資源化することになります。

問合せ 島根県土木部技術管理室
☎0852-22-5390

自動車税の納付

自動車税の納期限は5月31日です。お近くの金融機関、郵便局等で納めていただきますようお願いします。

車検を受けるときには必ず納税証明書が必要です。納税通知書に添付されている納税証明書(継続検査用)は、車検証と一緒に大切に保管しておいてください。

問合せ 島根県川本総務事務所
☎0855-72-9516

交通遺児等への育成資金貸付

交通遺児等育成資金の貸付

自動車事故により死亡された方、または重度の後遺障害になられた方のお子さま(0歳から中学生まで)に対して、無利子の育成資金をお貸しします。

重度後遺障害者への介護料支給

自動車事故によって、頭部またはせき脳に損傷を受け、重度の後遺障害をのこし、常時または随時、介護を要する方へ、介護料を支給します。

問合せ 政府出資法人
自動車事故対策センター
☎0852-25-4880



6月の保健行事

役場健康福祉課 ☎0855-72-0633

6月は日本脳炎の予防接種月です

5日(木)●リハビリ教室
14:00~16:00 すこやかセンター

6日(木)●断酒会
19:00~21:00 すこやかセンター

11日(火)●乳児・妊婦相談(ブラッシング指導があります)
13:00~14:00 すこやかセンター

●成人健康相談
14:30~15:00 すこやかセンター

14日(金)●食生活改善推進員育成教室
開講式 9:30~15:00 すこやかセンター

9:30~15:00 すこやかセンター

17日(月)●生き生きヘルス講座
講演「高脂血症を予防するための最新知識」

医療法人 仁寿会
加藤病院院長 加藤節司先生
13:30~15:30 すこやかセンター

19日(水)●リハビリ教室
10:00~15:00 すこやかセンター

20日(木)●三原地区健康相談
9:30~10:30 朝日ヶ丘会館
10:45~11:30 親和集会所

22日(土)●子育て講演会
「食事をとおした子どもの関わり」
島根大学教授 肥後功一先生
13:30~15:30 川本保育所

25日(火)●シルバー講座(老人医療証交付)
13:30~15:00 すこやかセンター

28日(金)●生き生きヘルス講座
9:30~12:00 すこやかセンター



交差点 情報

じょうほう
こうさん

川本町役場総務課

〒696-8501

島根県邑智郡川本町大字川本545-1

☎ 0855-72-0631

Fax 0855-72-0635

Hp <http://www.kawamoto-town.jp/>E-mail kawamoto@kawamoto-town.jp

男 2,235人 (2,298)

女 2,399人 (2,427)

計 4,634人 (4,725)

うち65歳以上 1,630人 (1,664)

うち15歳未満 498人 (515)

世帯数 2,013戸 (2,024)

平成14年5月1日現在の住民登録による
()は前年同月

町の人口



相談

高齢者・障害者の権利擁護

高齢者や障害者の権利擁護など、本人やその家族が抱えている心配事などの相談に応じます。相談は無料で、秘密は固く守ります。お気軽にご相談ください。

○一般相談 月～土曜日（ただし第4土曜日・祝祭日は休み）

○法律相談 第1、3水曜日

○司法書士相談 第4水曜日

○精神科相談 第3金曜日

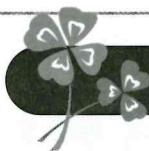
相談先

シルバー110番

☎ 0855-24-9337

障害者110番

☎ 0855-24-9338



川本町財政健全化計画

川本町の財政は、経常収支比率が97.5%という硬直化した状況になっています。この要因として、悠邑ふるさと会館の建設、し尿・ごみ処理施設整備などに伴う邑智郡町村総合事務組合への負担金、さらにその施設の管理運営費の増加によるところが大です。

財政の正常化を図るため、人件費の削減を中心とした「川本町財政健全化計画」（平成14年度～19年度）を策定し、3月20日付けで島根県の承認を受けました。

今後は、この計画にもとづき、自助努力と県の支援によって健全化へ取り組みます。

※経常収支比率とは…

人件費・物件費・公債費等の義務的性質の経常経費に、地方税・地方交付税等の経常一般財源が、どの程度充当されているのかをみることにより、財政構造の弾力性を判断する指標で、90%以上が警戒ライン。

概要

【歳入】各種の手数料及び使用料の見直しや遊休土地を処分。

【歳出】特別職を含む職員給与及び議員報酬の削減。

概要		内 容（金額は平成14年度分）
特 別 職		給与の減額…町長20%、助役・収入役・教育長15% (7,387千円) 報酬の減額…議会議員 5% (2,565千円)
一 般 職 員		給与の減額…5%～1% (15,328千円) 手当の減額…管理職手当、通勤手当、時間外勤務手当の削減 (9,969千円)

その他の削減

その他の削減		内 容（金額は平成14年度分）
公共施設の管理運営費の削減		前年度当初予算の10%～5%を減額します。 ふるさと会館 (4,402千円)、音戯館 (7,318千円)、笹遊里 (1,735千円)、弥山荘 (865千円)、インフォメーションセンター (686千円)
そ の 他		公民館への職員配置 社会教育指導員の廃止 (4,614千円) 財政支援団体への補助金等の削減 社会福祉協議会、学校給食会 (1,075千円)

【職員数の削減計画について】

平成13年度末の職員数82人を、平成19年度末には67人までに減員することとしています。これにより、6年間で170,882千円の人件費が抑制されます。

●今後の職員数の推移

（単位：人）

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
減員数	—	1	2	2	3	4	3
年度末職員数	82	81	79	77	74	70	67

子ども歳時記



しゃくなれ
はやめ

川本保育所の4、5歳児が田植えを体験。はだしで、園庭に設けられた特製の田んぼに入り、泥んこになってコシヒカリの苗を植えていきました。

photo: 2002.1.7 川本保育所

リレーノッセイ

私の趣味

25

小野 幸則
—川本町谷—

「趣味を通り越して…」

あなたの趣味は何?と聞かれる
と少し困ってしまうかも知れない。

僕には趣味を通り越したものがあ
る。それは「神楽」という郷土芸

能です。子どもの頃から神楽好き
で、色々な競演大会など見に行

ついていた。今では、川本神楽団
に入団して四年目になります。現

在、出雲に通勤しながら仕事と
神楽を両立してやっています。仕

事上、秋から冬にかけて忙しく、
週三回の練習を楽しみに芸の向上
を目指し頑張って、町の活性化
に貢献できれば良いと思います。

今では同級生が七、八人入団し
て頑張っていますが、若い方の入
団をお待ちしています。神楽好き
で一緒に頑張ってみたいと思われ
る方を募集しています。楽しいで
すよ!

私自身、神楽をやっていて良か

つたことの方が多いし、いろいろ
な人と出会えました。練習に練習
をかさね、さらなる芸の向上に努
め、郷土芸能を次の世代に継承
していきたいと思います。



総集後記

先日、合併先進地・兵庫県篠山
市政策部の大対信文さんから、ま
ちづくりの参考になれば、新市
誕生の経緯や合併協議会だよりを
まとめた冊子が送られてもほつた。
大対さんは昨年九月、合併をトー
マにした公開講座に講師として来

町。本紙連載の【合併考】にわ、
五ヶ月にわたり登場していただき、
以来、いつも遠方から川本町の未
來に思いをはせていただいている
方のお一人です。現在 同市では、
教育や福祉を核とした 協働のま
ちづくり、真っ只中のこと。再
び本紙で、その様子を語っていた
だくと、「わくわく感じます。(K)